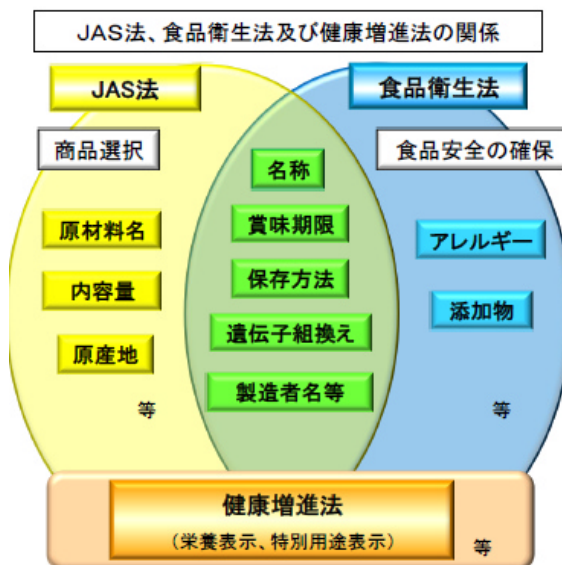


# 食品表示が食卓を守る

## 食品表示制度一元化へ検討会開始

東日本大震災で福島原発事故発生以後、放射能汚染や食品安全の意識が急速に高まっている。そのような中、現在複数の法律で規制されていた複雑な食品表示についても、関連法律が一元化されることが検討されている。9月30日第一回食品表示一元化検討会が開催され毎月一回のペースで行われる。平成24年1月には中間論点が整理され、6月頃取り纏められた後平成25年度に法案化の予定である。

政府はこれまでの行政の価値規範の転換を図り、消費者を主役と位置づけ、消費者の視点から政策全般を監視し、強力に推進していくため、消費者の不安と不信を招いた諸事案へ対応する為平成21年9月1日に消費者庁が設置された。これに伴い食品表示制度の規格立案、執行は消費者庁に移管した。担当部署は食品表示課である。



食品表示に関する法律には、次の4つがあり右図の様な関係になっている。

- 食品衛生法—飲食に起因する衛生上の危害発生を防止する事
  - J A S 法—原材料や原産地など品質に関する適正な表示により消費者の選択に資する事
  - 健康増進法—栄養の改善その他の国民の健康の増進を図る事
  - 米トレーサビリティ法—米穀等の適正かつ円滑な流通を確保すると共に産地情報を伝達する事
- 一方、消費者の求める商品情報は、加工の程度など商品の特性や、個人の関心に応じて多様であり、また、事件・事故の発生などの社会情勢や、景気などの経済情勢に応じて変化している。こうした中でも、健康や安全性に関する情報への消費者の関心は高いと考えられる。そして、商品の特性によっては、摂取方法によっては健康への影響が生じる場合があることへの注意も必要である。

食品表示に関する諸外国の制度や国際ルールについての情報収集、有識者や関係団体からのヒアリング、消費者庁食品表示課にて関係法令の統一的な解釈・運用を行いながら、現行制度の問題点などを把握し、食品表示に関する一元的な法律の制定など必要な措置を講じる計画だ。

### 通販でも食品表示義務化検討へ

他に、米トレーサビリティ法、特定J A S 法、景品表示法、不正競争防止法、計量法、酒税法などにも関連してくる。また、業務形態の違いで表示も義務化されていないケースもある。食品ラベル表示を、容器包装、包装のものには義務はあるが、ばら売りはないとか、スーパーやデパートでも店内加工したものには栄養表示、色々な含有したもの、含有量の表示がなくても済む。最近惣菜を買っている消費者が大変増えているが、売り場にP O P（ポップ：店頭の商品に近接した場所の広告）表示を義務付けるなどの検討や、チラシ、カタログ販売、TV通販、ネットスーパー、新聞広告における表示内容やネット販売における表示の義務化の問題などの検討が必要だ。農林水産省でも、これまで通信販売では義務付けられていなかった食品表示について、通販事業者が消費者への情報提供を積極的

（次ページへ続く）

に取り組むよう、基準を策定していく方針である。小規模な農業生産法人のネット販売においても今後注意が必要だ。

### 消費者の知りたい基本的情報と暫定基準値見直し

消費者が商品を選択する際に必要な基本的情報は、価格、名称、内容量、加工食品の原材料、原産地、アレルギー物質などである。これらのうち品質や安全性に関するものは、既にJAS法等の法令により容器包装への表示が義務付けられている。更に今回消費者が情報提供を求めているのは放射能汚染、基準値の問題だ。暫定値は福島第1原発の事故後に、緊急時の被曝限度に関する国際放射線防護委員会(ICRP)の基準をもとに時間的制約のある中で設けられたもの。数値が甘過ぎるとの批判は当初からあり、現在暫定基準値の見直しが始まっている。個々の食品の新しい基準値をつくり、来年4月から生産、出荷される食品に適用する方向である。現行の暫定基準値より厳しくなる可能性もある。

## フードセレクション2011

### 会津のコシヒカリABK 4.8 Aizu Bange Koshihikari 4.8kg 袋) 予約完売

東京ビックサイトで11/1~2、地方銀行37行で構成するフードセレクション2011が開催された。『食』の力で、日本を元気に！~復興支援をテーマに地方の優れた食材を発掘し、生産者と情報交換・商談が行われた。

風評被害で農産物の販売が落ち込んでいる福島県からは、会津坂下町の(有)猪俣徳一商店が出店していた。JGAP認証農場「農業生産法人(有)みずほ農場」のコシヒカリ“ABK 4.8”や、“ひとめぼれ”、“はえぬき”等のお米や、日本酒ベースのヨーグルトリキュール“スノードロップ”を紹介していた。猪俣社長の話では、収穫したばかりのお米は既に予約で完売し新規に受注できないという。放射能の風評被害を心配していたが、圃場ごとの肥培管理記録が確り取ってあるJGAP認証農場のコシヒカリ“ABK 4.8”などは新規の注文が増えて、今年収穫の全ての米は予約で完売した。一時在庫不足を心配したが、関西の取引先からキャンセルがあり他に回すことができ、何とか間に合いそうだと笑顔であった。



同じく、静岡県袋井三川・森町のJGAP認証農場(緑茶)にしたな(株)も、今年も世界銘茶品評会で金賞受賞、他に静岡県西部互評会で最優秀賞、JA荷口品評会最優秀賞、一茶深蒸し煎茶の部最優秀賞を取ったこともあり口コミで広がり予約で完売！と鈴木社長は笑顔。安全・安心だけでなく品質が伴った商品は売れ行きが良い。

### 本年度受賞

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ■ 世界銘茶品評会   | 金賞 GOLD. MEDAL |
| ■ 静岡県西部互評会  | 最優秀賞           |
| ■ JA荷口品評会   | 最優秀賞           |
| ■ 一茶深蒸し煎茶の部 | 最優秀賞           |



11月だというのに薄着でも肌寒くない暖かい日が続いていますね。しかし、夕暮れは早く、日の出の時間も遅くなりいつもよりも暗い朝の目覚めになかなか布団から起き出せません。そんな時、暖かい布団の中からちょっとだけ足先を出して刺激を与えると、起きられるとか？！

編集局長：小田原次洋 アシスタント：助川尚子

電話：03-5275-5511/E-mail: macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>